釧路工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	建築設計演習II				
科目基礎情報										
科目番号	0024			科目区分	科目区分 専門 / 必修					
授業形態	実習			単位の種別と単位数	単位の種別と単位数 履修単位: 6					
開設学科	建築学分野			対象学年	3					
開設期	通年			週時間数	6					
教科書/教材	[教科書] 1. 疑 . [問題集] 特	建築設計製図, 身には設定しない	ミ教出版. [参考書]	1. コンパクト設計賞	資料集成,建築学	全会編, 丸善. 2. 新建築 各号, 新建築社				
担当教員	松林 道雄,西洋	睪 岳夫	·	·	•					
到達目標										

評価項目1:他の専門分野の知識を総合しつつ、建築空間を具体的に表現する能力を身につけることができる。 評価項目2:各課題の要求に応えうる建築を明快なコンセプトを定めた上、計画的に設計できる。 評価項目3:コンセプトを分かりやすく伝える事を意識した建築模型を図面をもとに作成することができる。 評価項目4:指定された期限内に、各課題の要求に応えうる作品を完成させ提出できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	他の専門分野の知識を総合しつつ 、建築空間を具体的かつ適切丁寧 に表現する能力を身につけること ができる。	他の専門分野の知識を総合しつつ、建築空間を具体的に表現する能力を身につけることができる。	他の専門分野の知識を総合し、建築空間を考えることができず、具体的な建築表現をすることができない。
評価項目2	各課題の要求に応えうる建築を、 明快なコンセプトを定めた上で、 計画的に完成度の高い設計ができ る。	各課題の要求に応えうる建築を、 コンセプトを定めた上で、計画的 に設計ができる。	各課題の要求に応えうる建築にコ ンセプトを設けることができず、 設計をまとめることもできない。
評価項目3	図面をもとに、コンセプトを分かりやすくする伝えることを意識した完成度の高い模型を作成することができる。	図面をもとに、コンセプトを分か りやすくする伝えることを意識し た模型を作成することができる。	図面をもとに、模型を作成するこ とができない。
評価項目4	指定された期限内に各課題の要求 に応えうる作品を完成させ、提出 できる。	成績入力期限までに各課題の要求 に応えうる作品を完成させ、提出 できる。	定められた期限内に作品を完成させ、提出することができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 C 学習・教育到達度目標 F JABEE d-1 JABEE f

教育方法等

3/13/3/4/3	
概要	建築設計は、デザイン性のみならず利用者の要望や周囲の環境など様々な外的要因により決まってくる。このため、与条件を的確に読み取り、計画に生かすことが重要となる。また、専門科目が少しずつ増えてくる3年次では、他の関連科目を意識した企画・構想を立てる努力が求められる。そこで、建築設計演習Iでは、2000㎡前後の鉄筋コンクリート造の設計課題(教育施設)を通じて上記能力を養いつつ、RC造の図面表現を身に付けることを目指す。
授業の進め方・方法	前期は、店舗併用住宅のトレース(第1課題)と、校内福利厚生施設の設計・模型作成(第2課題)を通じて鉄筋コンクリート造の基本を学ぶ。 後期は、学校建築の計画・設計手法(第3課題)と透視図法について学ぶ。 作図に必要なT定規や勾配定規、筆記具等の製図道具一式、教科書類は必ず毎回用意すること。また、前期の14週から16週で予定されている模型作成時に必要な工作道具類は各自で用意し持参すること。 建築設計演習 I で得た知識・技術が活用できる。
	合否判定は第1〜第3課題で要求される作品を全て提出し、それぞれが100点満点中60点以上で合格とする。 成績評価は作品内容(80%)と取り組み姿勢・提出期限(20%)から決定する。 提出されない作品については、担当教員ごとに再試験に対応する期限が設定される。
注意点	1. 授業中は、無断で建築製図室・建築CAD室から出ないこと。 2. 提出期限を守ること。 3. 授業中のヘッドホン・イヤホンの使用を禁止する。 4. 建築製図室・建築CAD室における飲食を禁止する。 5. 掃除当番は、建築製図室をきれいに掃除すること。 6. 授業中は良好な製図環境が保てるよう静かに作業すること。
	後期の事例調査については、パースの練習に変更する場合がある。

授業計画

	4			
		週	授業内容	週ごとの到達目標
	・配置図のトレース	使用教科書のRC構造の設計に関する基礎知識を理解で きる。		
		2週	平面図のトレース	配置図の描き方が理解し、適切な作図表現をすることができる。
		3週	平面図のトレース	平面図の描き方を理解し、適切なRC造の図面表現をすることがきる。
	1.00	4週	断面図・立面図のトレース	断面図と立面図の描き方を理解し、適切なRC造の図面表現をすることがきる。
1stQ 前期 	ISIQ	5週	第二課題:学生厚生施設の設計課題 ・課題説明 ・グループワーキングによる問題発見	課題の条件を理解し、グループワーキングを通じて現 施設の問題点を発見できる。
		6週	・設計方針の検討・エスキスの作成	設計条件にグループワーキングの成果を取り入れ、設 計方針を検討し、コンセプトを考えることができる。
		7週	エスキスの作成	与条件を整理し、コンセプトをもとに下書きを作成す ることができる。
		8週	エスキスチェック	指摘された内容を理解し、設計内容の改善につなげる ことができる。
	2ndQ	9週	清書1	コンセプトをわかりやすく伝えることを意識しつつ、 要求図面を正確に作成することができる。

1982 2017年 1987								コンセプトをかかりやナノク	ラファレナギ	神しつつ	
日次			10返	園	青書2 ——	:		要求図面を正確に作成するこ	ことができる。		
139日	11週				清書3			コンセプトをわかりやすく伝えることを意識しつつ、 要求図面を正確に作成することができる。			
14回 根型制作1 現土の間を建て作成することができる。			12返		青書4					識しつつ、	
14日 根型制作2 清雪園画をとに工権に関連の作成することができる。			13返	劃	青書5)		コンセプトをわかりやすく伝 要求図面を正確に作成するこ	えることを意 とができる。	識しつつ、	
16週 横型射作3			14返	<u></u>	莫型制	训作1		コンセプトをわかりやすく伝 清書図面をもとに正確に模型 。	えることを意 の作成するこ	識しつつ、 とができる	
16回			15返		莫型制	训作2		コンセプトをわかりやすく伝 清書図面をもとに正確に模型 。	えることを意 の作成するこ	識しつつ、 ことができる	
2週			16退		莫型制						
23月 学科側音の発表 3- 学科側音の発表 3- 学科側音に関する発表ができる。 3- 学科側音に関する発表ができる。 3- 学科側音に関する発表ができる。 3- 学科学を使用して単例調査に関する発表ができる。 3- 学科学をもとに、コンセプトがまとめられ、動像・ソーニンののエスキス2 与条件をもとに、コンセプトがまとめられ、動像・ソーニンののエスキス3 与条件をもとに、配置図、条件である。 3- できる。 5- 学科学をもとに、配置図、条件である。 5- 学科学をもとに、配置図 8- 学科学をもとに、発酵・車配砂がかける。 5- 学科学をもとに、金融・車配砂がかける。 5- 学科学をもとに、金融・車配砂がかける。 5- 学科学をもとに、金融・車配砂がかける。 5- 学科学をもとに、金融・車配砂がかける。 5- 学科学をもとに、金融・車配砂がかける。 3- コンモブトをかかりやすぐ伝えることを意識し、要求 10週 ドローイング(平面図) コンモブトをかりやりずく伝えることを意識し、要求 11週 ドローイング(新面図) コンモブトをかりやりずく伝えることを意識し、要求 11週 ドローイング(「一ス」 12週 ドローイング(「「一ス」 13週 ドローイング(「「一ス」 13回を正確に作成できる。 10 世界 10			1週		オリエ	[ンテーショ]	ン, 学校建築の基本知識				
3rdQ 2月 2月 2月 2月 2月 2月 2月 2			2週	Ę	事例訳	哥查,発表準備	·	る。事例調査の結果をスライ	上げ調査する ドにまとめる	ことができ ことができ	
1			3週	=	事例訳	一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
20日		3rdQ	4週	Ē	果題訪	说明(第三課題	題:学校建築の設計)	できる。			
7週			5週		エスキ	Fス1		<u>ーニングのエスキスができる</u>	0		
後期										いける。	
10週 ドローイング (配置図、平面図) コンセフトをわかりやすく伝えることを意識し、要求 図価を正確に作成できる。) o	
10週 ドローイング (平面図)	後期		9週				置図, 平面図)	コンセプトをわかりやすく伝			
### 4thQ 12週 ドローイング (断面図) 図面を正確に作成できる。 フェンブトをわかりやすく伝えることを意識し、要求 13週 ドローイング (リース) 設計した建築物のパースを製作できる。 14週 ドローイング (リース) 設計した建築物のパースを製作できる。 15週 作品発表 15週 作品発表			10返	10週		ドローイング(平面図)		コンセプトをわかりやすく伝えることを意識し、要求			
13週 ドローイング (パース) 設計した建築物のパースを製作できる。 13週 ドローイング (パース) 設計した建築物のパースを製作できる。 15週 作品発表 講評会において、コンセプトなどをまとめ、プレゼン 7・15週 作品発表 講評会において、コンセプトなどをまとめ、プレゼン 7・15週 7・15			11週		ドローイング(立面図)		面図)	図面を正確に作成できる。			
14週 ドローイング (バース, その他) 設計した建築物のバースを製作できる。		4thQ	12返	12週 ドロ		ドローイング (断面図)		図面を正確に作成できる。			
15週 作品発表 講評会において、コンセブトなどをまとめ、ブレゼン デーションができる。											
15回 15回 16回 (後期中間試験、後期末試験ともに実施しない) デーションができる。							- 人, その他))、プレゼン	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							※期本試験ともに実施しない)				
分野 学習内容 学習内容 学習内容の到達目標 製図用具の特性を理解し、使用できる。 3	モデルコ	ー アカリキ									
製図用具の特性を理解し、使用できる。 3 10.後11.後 12 後9.後 線の描き分け(3種類程度)ができる。 3 10.後11.後 12 後9.後 10.後11.後 12 後9.後 10.後11.後 12 後9.後 2文字・寸法の記入を理解し、実践できる。 3 10.後11.後 12 後9.後 10.後11.後 12 6 後9.後 10.後11.後 12 6 後9.後 10.後11.後 12 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6									到達レベル	授業週	
操の描き分け(3種類程度)ができる。							製図用具の特性を理解し、使用でき	వ .	3	10,後11,後	
専門的能力 分野別の専門工学 建築系分野 設計・製図 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							線の描き分け(3種類程度)ができる。		3	10,後11,後	
理築の各種図面の意味を理解し、描けること。 3							文字・寸法の記入を理解し、実践できる。		3	後9,後 10,後11,後 12	
専門的能力 分野別の専門工学 建築系分野 建築系分野 建築系分野 建築系分野 建築系分野 と 図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。 3 10,後11,後12 後9,後 10,後11,後 12 立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象 12 立体的な発想とその表現(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。 5元られた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。 3 後5 与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。 6 与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図 3 後6,後7,後 8 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で							建築の各種図面の意味を理解し、描	けること。	3	10,後11,後	
門工学							図面の種類別の各種図の配置を理解	している。	3	10,後11,後 12	
などを用い)ができる。	専門的能力	分野別の 門工学	専	建築系分	}野	設計・製図	図面の尺度・縮尺について理解し、	図面の作図に反映できる。	3	10,後11,後	
面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADによ 3 り建築モデルを作成できる。							などを用い)ができる。		3	後13,後14	
与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる 3 後5 長えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図 3 後6,後7,後などがかける。							面をもとに模型を製作できる。また	ーレンボードなど)を用い、図は、BIMなどの3D-CADによ	3		
。 5 1/45 与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図 などがかける。 3 後6,後7,後									3	後5	
などがかける。 3 8							与えられた条件をもとに、動線・ゾ 。	ーニンクのエスキスができる 	3	後5	
								各階平面図、立面図、断面図		8	
ままで							設計した建築物の模型またはパース	などを製作できる。	3	後13,後14	
講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーショ 3 後15 ンができる。	1		l l			ļ	講師今笙において コンカプトかじ	をキレめ プロゼンニ シュ			

			敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討でき る。 後6						
		3	建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。 3 後15						
		3	建築における形態(ものの形)について	説明できる。		3	後15	
評価割合									
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他		 合計	
総合評価割合	0	10	0	10	80	0		100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0		0	
専門的能力	0	10	0	10	80	0		100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0		0	